Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE_Sapporo2024v1.0　I使用評価ソフト：CASBEE札幌2024（ver1.0）

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)菊水2条2丁目MS　新築工事	階数	14階
		構造	RC造
建設地	札幌市白石区菊水2条2丁目 217-10、-23	平均居住人員	52　人
		年間使用時間	7,800　時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年6月　予定	評価の実施日	2026年8月24日
敷地面積	672 ㎡	作成者	
建築面積	190 ㎡	確認日	
延床面積	2,531 ㎡	確認者	

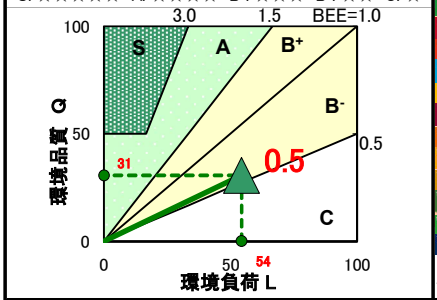
1-2 外観

※ここに外観パースを貼り付けてください。

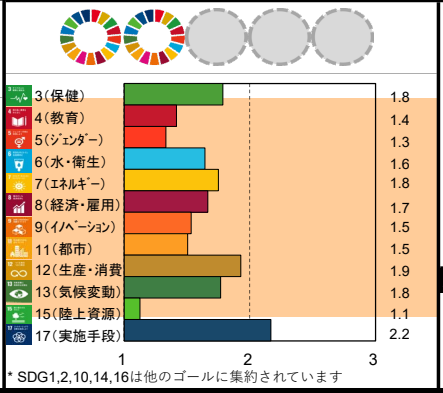
2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =0.5　★★☆☆☆　B－

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★

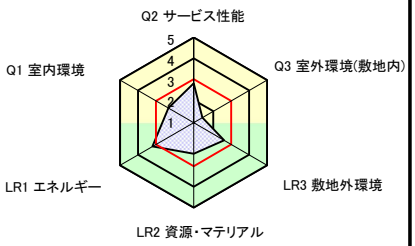


2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果



* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価（レーダーチャート）

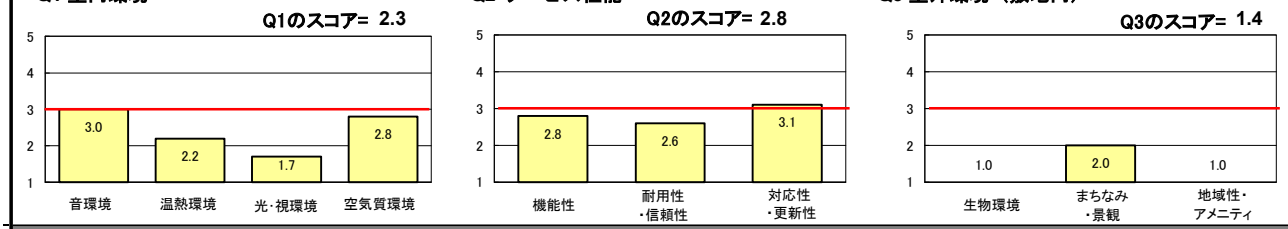


2-4 一次エネルギー消費量の評価

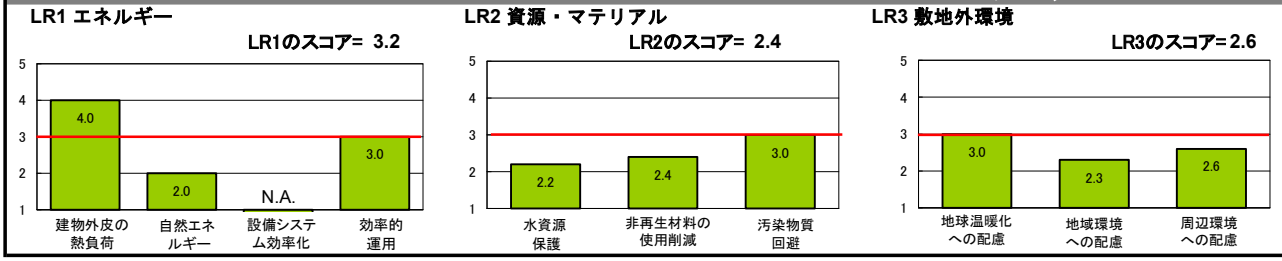
建物全体の[BEI*][BEIm*]	0.96
建物全体の[BEI][BEIm]	0.96
建物全体の[BEI+]	－
ZEB／ZEH-Mランク	非該当

2-5 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.2



LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.8



3 設計上の配慮事項

総合
断熱性能向上により、冬期間の暖房エネルギー、夏期間の冷房エネルギーの削減

A 省エネルギー
断熱性能に配慮

B 省資源等
可能な部分にリサイクル材を使用

C 緑化

D 雪処理
ロードヒーティング設備を設置

4 ほかの認証・評価制度の利用

(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	-				

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン（WLC）」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE_Sapporo2024v1.0
(仮称)菊水2条2丁目MS　新築工事

■使用評価マニュア CASBEE_Sapporo2024v1.0
■評価ソフト:　CASBEE札幌2024 (ver1.0)

スコアシート　実施設計段階

配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質							2.2
Q1 室内環境				0.40		-	2.3
1 音環境			3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		−	3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音			3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		−	3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		−	-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		−	-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		−	-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		−	-	-	-	-	
2 温熱環境			2.2	0.35	2.2	1.00	2.2
2.1 室温制御			2.2	0.50	2.2	0.50	
1 室温		−	3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能	省エネ	−	1.0	0.38	1.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		−	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		−	1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		−	3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境			1.9	0.25	1.7	1.00	1.7
3.1 昼光利用			3.0	0.30	2.4	0.30	
1 昼光率		−	3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口		−	-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備	省エネ	−	3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策			1.0	0.30	1.0	0.30	
1 昼光制御	省エネ	−	1.0	1.00	1.0	1.00	
3.3 照度		−	3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		−	1.0	0.25	1.0	0.25	
4 空気質環境			3.0	0.25	2.7	1.00	2.8
4.1 発生源対策			3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		−	3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気			3.0	0.40	2.3	0.38	

1	換気量		−	3.0	0.50	3.0	0.33	
2	自然換気性能		−	-	-	1.0	0.33	
3	取り入れ外気への配慮		−	3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1	CO_2の監視		−	-	-	-	-	
2	喫煙の制御		−	-	-	-	-	
Q2　サービス性能				_	**0.30**	-	-	**2.8**
1　機能性				**2.0**	0.40	**3.0**	1.00	**2.8**
1.1 機能性・使いやすさ				**1.0**	0.40	**3.0**	0.60	
1	広さ・収納性		−	-	-	-	-	
2	高度情報通信設備対応		−	-	-	3.0	1.00	
3	バリアフリー計画		−	1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				**3.0**	0.30	**3.0**	0.40	
1	広さ感・景観		−	-	-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース		−	-	-	-	-	
3	内装計画		−	3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				**2.5**	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計		−	3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保		−	2.0	0.50	-	-	
2　耐用性・信頼性				**2.6**	0.30	-	-	**2.6**
2.1 耐震・免震・制震・制振				**3.0**	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		−	3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能		−	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				**2.7**	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数		−	3.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	−	2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	−	2.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				**1.8**	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		−	3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		−	2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		−	1.0	0.20	-	-	

	4	機械・配管支持方法		—	1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		—	2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					**2.4**	0.30	**3.3**	1.00	**3.1**
3.1 空間のゆとり					-	-	**3.6**	0.50	
	1	階高のゆとり		—	-	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		—	-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				—	-	-	**3.0**	0.50	
3.3 設備の更新性					**2.4**	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性		—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		—	2.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		—	1.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					_	**0.30**	-	-	**1.4**
1 生物環境の保全と創出			緑化	—	**1.0**	0.30	-	-	**1.0**
2 まちなみ・景観への配慮			緑化	—	**2.0**	0.40	-	-	**2.0**
3 地域性・アメニティへの配慮					**1.0**	0.30	-	-	**1.0**
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			雪処理	—	**1.0**	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			省資源 緑化	—	**1.0**	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-		-	**2.8**
LR1 エネルギー					_	**0.40**	-	-	**3.2**
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネ	BPI= — 品確法= 等級5 —	**4.0**	0.40	-	-	**4.0**
2 自然エネルギー利用(直接利用)			省エネ	—	**2.0**	0.20	-	-	**2.0**
3 設備システムの高効率化			省エネ	BEI*, BEIm*= 0.96 BEI, BEIm= 0.96 BEI+= — —	-	-	-	-	-
4 効率的運用に向けた取組み					**3.0**	0.40	-	-	**3.0**
集合住宅以外の評価					-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネ	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネ	—	-	-	-	-	
	4.3	非化石エネルギーの導入の拡大		—	-	-	-	-	
	4.4	コミッショニングの推進		—	-	-	-	-	
集合住宅の評価					**3.0**	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネ	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネ	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル					_	**0.30**	-	-	**2.4**
1 水資源保護					**2.2**	0.20	-	-	**2.2**
1.1 節水				—	**1.0**	0.40	-	-	

	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		−	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		−	3.0	0.30	-	-	
2	**非再生性資源の使用量削減**			**2.4**	0.60	-	-	**2.4**
	2.1 材料使用量の削減	省資源	−	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	−	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源	−	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	−	3.0	0.20	-	-	
3	**汚染物質含有材料の使用回避**			**3.0**	0.20	-	-	**3.0**
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		−	**3.0**	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			**3.0**	0.70	-	-	
	1 消火剤	省資源	−	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	省資源	−	3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	省資源	−	3.0	0.50	-	-	
LR3	**敷地外環境**			_	0.30	-	-	2.6
1	**地球温暖化への配慮**	省資源	−	**3.0**	0.33	-	-	**3.0**
2	**地域環境への配慮**			**2.3**	0.33	-	-	**2.3**
	2.1 大気汚染防止	省資源	−	**3.0**	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 雪処理	−	**2.0**	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			**2.5**	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	省資源	−	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		−	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		−	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	−	1.0	0.25	-	-	
3	**周辺環境への配慮**			**2.6**	0.33	-	-	**2.6**
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
	1 騒音		−	-	-	-	-	
	2 振動		−	-	-	-	-	
	3 悪臭		−	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			**3.0**	0.67	-	-	
	1 風害の抑制		−	-	-	-	-	
	2 砂塵の抑制		−	-	-	-		
	3 日照阻害の抑制		−	3.0	1.00	-	-	
	3.3 光害の抑制			**1.9**	0.33	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		−	1.0	0.70	-	-	

		2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		ー	4.0	0.30	-	-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌

重点項目評価結果

■使用評価マニュアル： CASBEE_Sapporo2024v1.0　　■使用評価ソフト： CASBEE札幌2024（ver1.0）

1 建物概要

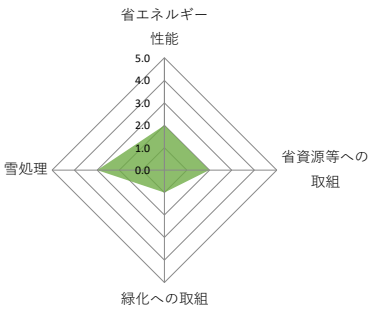
建物名称	（仮称）菊水2条2丁目MS 新築工事	BEE	0.5	BEEランク	B＋
建物用途	集合住宅,				
延床面積	2,531.0 ㎡				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策

最重点項目 省エネルギー	★★☆☆☆
省資源等	★★☆☆☆
緑　化	★☆☆☆☆
雪処理	★★★☆☆

レーダーチャート



★1＝スコア（最低点～最高点）20%以下
★2＝スコア（最低点～最高点）20%～40%以下
★3＝スコア（最低点～最高点）40%～60%以下
★4＝スコア（最低点～最高点）60%～80%以下
★5＝スコア（最低点～最高点）80%以上

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー（最高点 29.6 最低点 11.2）				**合計**		**15.2点**	／29.6点
Q1 温熱環境	スコア	0.7	／3.5	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	6.4	／8.0
Q1 光・視環境	スコア	1.7	／6.1	LR1 自然エネルギー利用（直接利用）	スコア	1.6	／4.0
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	0.0	／0.0
				LR1 効率的運用に向けた取組み	スコア	4.8	／8.0
B 省資源等（最高点 23.7 最低点 7.7）				**合計**		**11.6点**	／23.7点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.5	／1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.3	／9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	／2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3	／1.9
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.0	／5.0
				LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0	／4.4
C 緑化（最高点 15.3 最低点 3.1）				**合計**		**4.8点**	／15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9	／4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0	／2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.4	／6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.5	／2.3				
D 雪処理（最高点 3.0 最低点 0）				**合計**		**1.0点**	／3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	／1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0	／2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■重点項目の**最高点は、各評価項目でレベル5**で評価された場合の点数
■重点項目の**最低点は、各評価項目でレベル1**で評価された場合の点数